

令和4年度事業計画

はじめに

本年度は、利用者や地域からのニーズに合った事業所にするため、各事業を見直し実施する。

新たに、ワークス上駒（就労B（Ⅰ）型）よりゆったり働ける就労事業所ゆったりんどう（就労B（Ⅲ）型）を新規開設する。

令和3年度末で閉館となった地域活動支援センター（スローステップ）の建物に、新規事業の就労B（Ⅲ）型と日中生活訓練事業を配置し、また相談室も本部から移転することで今まで以上に連携の取れる体制とする。

職員の連携を大切にし、各職員が利用者支援のスキルを磨き、より一層充実した支援を目指す。また、地域共生社会の実現を目指し、相互の役割を持ち「支え手」「受け手」という関係を超えて支え合う取り組みを目指す。

法人としては、3か年計画の2年目となり、進捗状況を確認しながら進めていく。

ライフサポートりんどうの令和4年度事業の概要として、まず、フレッシュとくま（指定生活介護事業・指定短期入所事業・指定自立訓練（宿泊型）事業・指定自立訓練（生活訓練）事業）は、各事業ごと定められた定員を満たせるよう利用者確保に努める。また、継続して新型コロナウイルス等の感染予防に努め、事故やケガのないよう利用者の安全が確保できる支援を組み立てていく。

グループホーム（指定共同生活援助事業）は、国の補助金が採択されれば、新しいグループホーム（定員10人）の建築に向けて進めていく。令和5年4月の開設を見込み、令和4年度はグループホーム全体で入所者の移動も検討しなければいけない。サテライト型グループホームでは、地域の住民として安定した生活を送り、8月には個人契約に移行できるよう支援していく。

指定自立生活援助事業は、生活上の諸課題を解決して安定した生活の実現を図るとともに、新規利用者の確保に取り組む。令和3年度から利用期間の延長が可能となり、引き続き支援が必要な方については支援を継続していく。

ワークス上駒（指定就労継続B（Ⅰ）型事業）は、年間を通してできる外作業量を今以上に充実させ、利用者確保と更なる工賃アップを目指す。自主製品の開発も進めていく。

利用者が働くことへのモチベーションアップにつながる支援をしていく。

また、就労希望者には、就労につながる支援内容の充実と聞き取りを推進していく。

ゆったりんどう（指定就労継続支援B（Ⅲ）型事業）は、令和4年度からの新規事業として、社会（地域）や仲間との繋がりを大事にしつつ、就労にやりがいや生きがいを感じられるように支援をする。新規事業のため利用者確保と工賃となる作業の確保を図る。

就労定着支援事業では、就労した人の定着と課題の早期解決に努め、就労継続を支援する。

指定相談支援事業は、行政や他事業所と連携し、地域で暮らす障害者の福祉サービスが円滑に行われるよう、きめ細かな調整、支援を継続する。そのために、研修などに参加し相談支援専門員のスキルアップを目指す。

ヘルパーステーションてくてく（指定居宅介護事業）では、開設3年目となり利用契約者数も徐々に増えている。りんどうが持っている精神障がい者支援の専門性を活かし、地域生活が継続できるように利用者の日常生活を支えていく。居宅介護の支援の充実と更なる利用者確保を図る。

一 令和4年度重点事項

- 1 今後の国の動向を踏まえて、第3次事業計画に沿って事業を進める。また、状況に応じて変更も検討して、事業活動全体の活性化と充実を図る。
- 2 グループホームの建設補助金内定により、令和5年4月開設に向け実行する。
- 3 就労事業所の大幅な仕事内容の見直しの中で、近隣地域との連携と地域密着事業所として認知されるよう取り組む。
- 4 現在のコロナ禍や災害時等に在っても法人の障害者支援事業を途絶えることなく行えるようBCP（事業継続計画）を早期に策定し、併せて、効果的な事業運営により経費節減を図り、健全な財政運営に努める。

二 法人運営

1 基本方針

法人の理念に基づき、精神障がい者を中心としたあらゆる障がい者への支援を行うとともに、すべての人が共に生きるための地域づくりを主たる業務として施設経営及び事業を行う。

2 役員会等

- (1) 評議員会 定時評議員会を年1回開催するほか、必要に応じて開催
- (2) 理事会 年3回以上開催
- (3) 監事監査 年1回以上
- (4) 役員の研修 法人経営、情報管理、苦情対応、監査等についての研修

3 法人運営及び事務

- (1) 運営会議

定例会 毎週水曜日 他、必要に応じて開催

構成員 正副理事長、常務理事、施設長(管理者)、事務長

(2) 事務 常務理事の指揮のもと本部職員が行う。

(3) 常務理事は、定期的に理事長及び副理事長に運営状況を報告し、指示を受ける。

4 法人経営資金等

(1) 法人経営の財源は、主として各事業経営による収入とする。

(2) 施設整備のための資金造成及び取崩

ア 令和3年度末の目標金額 46,000,000円

イ 令和3年度決算後の造成金額 46,130,000円

ウ 令和4年度取崩予定額 46,130,000円

エ 令和4年度積立予定額 5,000,000円

(3) 借入金の返済 借入金額(平成22年12月借入れ) 30,000,000円

令和4年度返済額 1,512,000円

*当期利息(0.27%) 33,844円

令和4年度末残高 11,718,000円

(最終償還期限 2030.12.10)

5 施設経営等

(1) 障害者総合支援法等による次の諸事業を行う。

A 指定生活介護事業 「フレッシュとくま」 定員 17人

B 指定短期入所事業 " 定員 3人

C 指定自立訓練(宿泊型)事業 " 定員 17人

D 指定自立訓練(生活訓練)事業 " 定員 10人

E 指定共同生活援助事業 定員 25人

いなだの家(6)、いなだの家サテライト(1)

こまざわハウス(5)、こまざわハウスサテライト(2)

のくとまーる(10)、のくとまーるサテライト(1)

F 指定自立生活援助事業 「自立生活支援室」

G 指定就労継続支援B(I)型事業 「ワークス上駒」 定員 34人

H 指定就労継続支援B(III)型事業 「ゆったりんどう」 定員 10人

I 指定就労定着支援事業 「就労定着支援室」

J 相談支援事業(指定一般相談支援事業、指定特定相談支援事業) 「相談室」

K 指定居宅介護事業 「ヘルパーステーションてくてく」

(2) 施設運営

利用者の立場に沿ったサービスを提供するとともに、安全、安心が図られるよう危機管理を徹底する。また、苦情解決や虐待防止、関係法令の遵守については、規程に

沿って迅速かつ適正に対応する。

(3) 関係機関・団体等との連携・協力

ア 県、長野市をはじめ関係の市町村等の行政機関との連携

イ 医療機関との連携

ウ 長野市障害者地域自立支援協議会への参加

エ 地域コミュニティ組織との協力と積極的な連携

オ その他関係する機関や団体との積極的な連携

6 適正な人事管理の実施

職位・業務管理・人事考課等の人事管理システムを適正に運用していくとともに、必要に応じて見直していく。

7 職員の資質の向上

(1) 自らのキャリアパスを俯瞰しながら更に自己啓発を行うよう、策定したシステムを活用し職員のキャリアアップを支援する。

(2) 職員研修基本計画に基づき本年度の研修計画を策定し、OJT(職を通じての研修)、OFF-JT(職を離れての研修)及びSDS(自己啓発援助)を計画的に推進し職員の資質の向上を図る。

(3) 精神保健福祉士等の国家資格等の取得促進及び自らの支援技術等向上のための自己啓発に対して、積極的な支援を行う。

8 業務改善

年間を通して業務標準化を含めて業務全般の見直しを行い、マンネリ化に陥らないよう効率化を図る。

また、具体的な業務改善を図るため、必要によりIT化等を推進する。

9 その他

(1) 会報誌「長野りんどう」の発行(年2回)

(2) 年報「令和3年度版」の発行(8月)

(3) ホームページ等を随時更新し、効果的な広報活動を展開する。

三 各サービス事業の計画

A 指定生活介護事業

1 事業所名 ライフサポートりんどう フレッシュとくま

2 事業所所在地 長野市大字徳間3222番地

3 事業目的

援助を要する者に日中に於いて健康相談・入浴・食事提供・余暇活動等の介護事業を通して、自分らしい生活を地域で送れるように、また、軽作業に取り組み生活にメリハリをつけることを目的とする。

4 利用対象者

障害支援区分3以上又は50歳以上の場合は区分2以上で当サービス利用が妥当と認められた者

5 定員

17人

6 利用期間等

- (1) 利用期間 市町村から支給決定を受けた期間
- (2) 開設日 月曜日から金曜日、第2・4土曜日(祝祭日、年末年始、夏季休業日を除く)、法人・事業所の行事等の日
- (3) 開設時間 9時30分から15時30分まで

7 支援内容

- (1) 生活習慣病と介護等の予防に取り組み、成人病等の早期発見や重症化を防ぐ。
- (2) 軽作業に取り組むことで、余暇や休息の時間とのメリハリをつける。
- (3) 入浴、洗濯や身だしなみチェックを通し、利用者の衛生管理や清潔保持の支援をする。
- (4) その他
 - ア 必要な人への送迎と昼食提供(実費)
 - イ 秋の一泊旅行、せいしれんセミナー、行事等への参加

8 職員体制

管理者、サービス責任者、生活支援員、医師、看護職員

9 運営資金

- (1) 法定給付費
- (2) 利用者負担金
 - ア 利用料
 - イ その他
 - (ア) 昼食代
 - (イ) 行事等参加費

B 指定短期入所事業

- 1 事業所名 ライフサポートりんどう フレッシュとくま
- 2 事業所所在地 長野市大字徳間3222番地
- 3 事業目的
 家族等の都合で一時的に介護が受けられない時、定期的な利用により生活の安定を図る等、居宅生活の持続を可能にすることを目的とする。
- 4 利用対象者
 (1) 居住市町村から短期入所利用について支給決定を受けた者
 (2) 緊急時など一定の理由により利用を希望する者または私的利用する者
 (3) 長期入院者等の地域移行に向けて利用を希望する者
- 5 定員
 3人
- 6 利用期間等
 (1) 利用期間 市町村から支給決定を受けた期間
 (2) 開設日 365日
 (3) 開設時間 24時間
- 7 支援内容
 (1) 行政・医療機関・相談支援等との連携・情報交換等をしながら利用者支援をする。
 (2) 利用者個々のニーズに沿った支援内容を組み立てる。
 (3) 地域移行支援については家族、関係機関とショートステイの様子等、情報を共有して支援する。
 (4) 利用のなかで、今後の意向をその都度確認していく。
 (5) 法人内で連携していく。
 (6) 継続利用を促すため、課題を明確にして支援をする。
- 8 職員体制
 生活支援員 宿直職員 調理員
- 9 運営資金

- (1) 法定給付費
- (2) 利用者負担金 (食費は別途徴収)
 - ア 利用料

C 指定自立訓練（宿泊型）事業

- 1 事業所名 ライフサポートりんどう フレッシュとくま
- 2 事業所在地 長野市大字徳間3222番地
- 3 事業目的
障がいを受け入れ、将来に夢や希望を持って自分の生活を考えていけるよう支援することを目的とする。
- 4 利用対象者
地域移行に向けて、一定期間、居住の場を提供して、生活の能力等の維持・向上のための訓練、その他の支援が必要な障がい者
居住市町村から宿泊型生活訓練利用について支給決定を受けた者
- 5 定員
17人
- 6 利用期間等
 - (1) 利用期間 市町村が定めた利用開始日より2年間（状況により1年を限度に期間延長が可能）
 - (2) 開設日 365日
 - (3) 開設時間 24時間
- 7 支援内容
 - (1) 行政・医療機関・相談支援等との連携・情報交換等をしながら利用者支援する。
 - (2) 利用者のニーズに沿った支援内容を考え、利用期間も柔軟に設定する。
 - (3) 利用者支援については個別支援計画に基づき担当職員を定めて支援する。
 - (4) 日々の利用者の体調を把握し、状況に応じて関係機関（特に医療機関）との連携を図る。
 - (5) 安定した日常生活維持のためのスキルを身につけられるように支援する。
 - (6) 法人内で連携し、就労等の次のステップにつなげる。
 - (7) 可能な限り家族面談を行い、家族の意向も踏まえ、利用者により良い支援を行う。

- (8) 災害、火災、交通事故防止の学習及び毎月の避難訓練を実施する。
- (9) 感染症、食中毒及び生活習慣予防を学習していく。
- (10) 事業所内外の危険個所確認と事業所内外での事故防止を徹底する。
- (11) その他

- ア 定期的利用者ミーティング開催（利用者の意向確認）
- イ 秋の一泊旅行、せいしれんセミナー、行事参加等
- ウ フレッシュとくまの事業や行事等の情報発信（ホームページ、情報誌等）
- エ 地域移行（退院支援）事業、相談支援事業への協力

8 職員体制

管理者、サービス責任者、生活支援員、地域移行支援、看護職員、調理員、宿直職員

9 運営資金

- (1) 法定給付費
- (2) 利用者負担金
 - ア 施設利用料
 - イ その他
 - (ア) 個室の電気使用料
 - (イ) 土日祝祭日の昼食代
 - (ウ) 行事等参加費

D 指定自立訓練（生活訓練）事業 日中

- 1 事業所名 ライフサポートりんどう フレッシュとくま
- 2 事業所所在地 長野市上駒沢429-1
- 3 事業目的
 利用者の主体性、自主性を尊重して、日常生活力の維持や向上のための支援をすることを目的とする。
- 4 利用対象者
 地域生活を営む上で生活能力の維持・向上等のため、一定の支援が必要な障がい者
 居住市町村から生活訓練（通所・訪問型）利用について支給決定を受けた者
- 5 定員
 10人

6 利用期間等

- (1) 利用期間 市町村が定めた利用開始日より2年間
- (2) 開設日 月曜日から金曜日（祝祭日、年末年始、夏期休業日を除く）法人・事業所の行事等の日
- (3) 開設時間 9時30分から15時30分まで

7 支援内容

- (1) 行政、医療機関、相談支援事業所、家族等との連携、情報交換をしながら利用者支援する。
- (2) 利用者支援については個別支援計画に基づき、担当職員を定めて支援する。
- (3) 定期的に勉強会や面接を行う。
- (4) 法人内外の事業所等の見学や社会資源の体験をする。
- (5) 利用者自身がエンパワメントを発揮できるようにする。
- (6) 簡単な調理技術獲得のため、調理実習や食材購入支援を行う。
- (7) 部屋の整理、書類の取り扱い方、作業体験、外出支援等行う。
- (8) 自宅での支援が必要な利用者に訪問をして地域生活の継続のために必要な支援をする。
- (9) 法人内で連携していく。

8 職員体制

管理者、サービス管理責任者、生活支援員、生活支援員（訪問）、看護職員

9 運営資金

- (1) 法定給付費
- (2) 利用者負担金
 - ア 施設利用料
 - イ その他
 - (ア) 昼食代
 - (イ) 行事等参加費

E 指定共同生活援助事業

- 1 事業所名 ライフサポートりんどう グループホーム
- 2 事業所所在地 長野市大字徳間3222番地
 - ・「こまざわハウス」 長野市上駒沢新町401-1（所有物件）
 - こまざわハウスサテライト 2箇所

- ・「のくとまーる」 長野市徳間354-1 徳間ホワイトコーポ
のくとまーるサテライト 1箇所
- ・「いなだの家」 長野市稲田4-5-14
いなだの家サテライト 1箇所

3 事業目的

- (1) 利用者が地域で自立した生活ができるよう、居住の場の提供と日常生活において必要な支援を行う。
- (2) グループホームから単身生活や家庭への移行を図るための取組、支援を行う。
- (3) 退所後も安定した生活が行えるように支援する。

4 利用対象者

障がいがある方（主に精神）
居住市町村から共同生活援助事業について支給決定を受けた者

5 定員

- ・こまざわハウス 7人（サテライト含む）
 - ・のくとまーる 11人（サテライト含む）
 - ・いなだの家 7人（サテライト含む）
- 合計 25人

6 利用期間等

- (1) 利用期間 必要とする期間（サテライトは原則2年）
- (2) 開設日 当該月の日数
- (3) 開設時間 24時間

7 支援内容

- (1) 利用者個々のニーズをくみ取り、利用者が将来の生活を組み立てていけるよう支援する。
- (2) 家族と連携し、本人の不安の軽減を図る。
- (3) 火災、災害時に備え、避難体制を整える。
- (4) 生活の質の維持向上
 - ア 調理、清掃、買物等日常生活で習得したい部分の支援を行う。
 - イ 体調・服薬・金銭等の管理が適正にできるよう支援を行う。
 - ウ 余暇時間の有効活用の支援を行う。
- (5) 相談援助と日常生活行動支援
 - ア 対人関係、その他日常生活の不安や課題への相談支援を行う。
 - イ 地域住民としての決まりごと遵守の支援を行う。

ウ 福祉制度の各種手続きの支援を行いながら、利用者が福祉制度等の理解及び活用ができるように支援していく。

エ 家族、関係機関等との連絡調整を図る。

(6) 日中活動の支援

ア 自ら選択したサービス利用の支援を行う。

イ 就労先やサービス事業所との連絡や調整を行う。

ウ 日中外出できない時の見守りや不調時の通院の支援を行う。

(7) 危機管理の徹底への支援

ア 火災、災害等に備えた避難訓練の実施で防災意識の徹底をしていく。

イ 感染症、食中毒の予防知識と技術に対する支援を行う。

(8) その他

ア メンバーミーティングの開催を支援する。

イ 地区清掃やゴミステーションの立ち合い等地域住民としての役割の実践支援をする。

8 職員体制

管理者、サービス管理責任者、世話人、生活支援員、看護師

9 運営資金

(1) 法定給付費

(2) 利用者負担金

ア 施設利用料

イ 食費

ウ 雑費・光熱水費

エ その他

(ア) 火災保険、傷害保険に加入

(イ) 行事等参加費

(ウ) 共有備品の購入に充てるための積立金

F 自立生活援助事業

1 事業所名 ライフサポートりんどう 自立生活支援室

2 事業所所在地 長野市大字徳間3222

3 事業目的

障害者支援施設やグループホーム等から一人暮らしへの移行を希望する障害者が生活力、社会適応力を高めるための支援を行うことにより、安心して地域で生活できるようにする。

4 利用対象者

障害者支援施設やグループホーム等を利用していた障がい者で一人暮らしに移行した者及び現在一人暮らしをしているが課題等がある者

居住市町村が自立生活援助事業の支給決定を受けている者

5 定員

定めなし

6 利用期間

市町村が定めた利用開始日から原則1年間（必要に応じ延長あり）

7 支援内容

定期的な巡回訪問や通報を受けて行う訪問等により、障害者の理解力、生活力等を補う観点から次の支援を行う。

- (1) 衣食住、健康管理、消費生活、余暇活動等に関する生活支援
- (2) 対人関係の調整、職場・関係機関等との連絡調整に関する支援
- (3) 相談対応等の方法による障害者等に係る状況の把握
- (4) 必要な情報の提供及び助言並びに相談
- (5) 関係機関（相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、医療機関等）との連絡調整
- (6) その他の障害者が自立した日常生活を営むための環境整備に必要な支援

8 職員体制

管理者、サービス管理責任者、地域生活支援員

9 運営資金

法定給付費

G 指定就労継続支援B（I）型事業

1 事業所名 ワークス上駒

2 事業所所在地 長野市上駒沢429-1

3 事業目的

一般企業での就労が困難と思われる障がい者に働く場を提供し、より高い工賃支給を目指すとともに、知識の習得及び能力の向上のために必要な訓練を行う。場合により、次の

段階としての就労へ繋げる支援を行う。

4 利用対象者

- (1) 就労移行支援事業を利用したが一般企業等の雇用に結びつかない者
- (2) 就労経験がある者で、年齢や体力の面で一般企業に雇用されることが困難となった者
- (3) 50歳に達している者又は障害年金1級受給者
- (4) (2)及び(3)に該当しない者で、就労移行支援事業者等によるアセスメントにより、就労面に係る課題等の把握が行われている利用希望者

5 定員

34人

6 利用期間等

- (1) 利用期間 支給決定を受けた期間
- (2) 開設日 月曜日から金曜日（祝祭日、年末年始、夏季休業日を除く）
- (3) 開設時間 月曜日及び水曜日から金曜日は、9時から16時まで
火曜日は、9時から14時30分まで（実習・行事・関係企業からの依頼等により上記以外の曜日・時間帯もあり得る。）

7 支援内容

- (1) 利用者個々の自己到達目標に向けての支援
 - ア 個別支援計画で聞き取った目標・課題を6か月ごとに振り返り、評価しステップアップを図る。
- (2) 工賃アップを目指した支援
 - ア 安定した収入が得られるよう建物の清掃や草刈りにより多くの利用者が参加できるよう、作業マニュアルに沿って支援する。また、掃除道具の扱い方や農機具の使い方の実技練習を行う。
 - イ 施設外就労で、体力の維持、チームワークを図り、作業効率を上げる。
 - ウ 特性に合わせた作業訓練を行い、作業時間の延長を図っていく。
 - エ 利用者が意欲的に作業を行えるよう働きかけをしていく。
 - オ 新商品（菓子、赤飯等）を開発し販路を地域へ広げていく。
 - カ 各通所事業所の昼食弁当の作成と法人内の移動カフェ営業をする。
- (3) 一般就労に向けた支援
 - ア 作業提供により、就労意欲が高まった利用者を就労希望者セルフモニタリングシート等を使って就労に繋げていく。
- (4) 安定利用に向けての支援
 - ア 仕事、就労意欲を高めて、利用日数が増えるよう声掛けし、面接等行っていく。

イ 不調等は、早めの面談や家族・関係事業所等と連携し対応していく。

(5) その他

各種行事の実施

地域の行事等へ積極的に参加していく。

8 職員体制

管理者、サービス管理責任者、職業指導員、生活支援員、調理員、目標工賃達成指導員

9 運営資金

(1) 法定給付費

(2) 利用者負担金

ア 利用料

イ その他

(ア) 昼食代

(イ) 行事等参加費

H 指定就労継続支援B（Ⅲ）型事業

1 事業所名 ゆったりんどう

2 事業所所在地 長野市上駒沢429-1

3 事業目的

年齢、体力や体調のことを考えると、しっかり働くには不安が多い。

収入も欲しいが、働くことを重点に置かれれば通うことに抵抗がある利用者に、地域や仲間との繋がりをたいせつにし、生きがいややりがいがある働き方の支援をする。

4 利用対象者

(1) 就労移行支援事業を利用したが一般企業等の雇用に結びつかない者

(2) 就労経験がある者で、年齢や体力の面で一般企業に雇用されることが困難となった者

(3) 50歳に達している者又は障害年金1級受給者

(4) (2)及び(3)に該当しない者で、就労移行支援事業者等によるアセスメントにより、就労面に係る課題等の把握が行われている利用希望者

5 定員

10人

6 利用期間等

- (1) 利用期間 支給決定を受けた期間
- (2) 開設日 月曜日から金曜日（祝祭日、年末年始、夏季休業日を除く）
- (3) 開設時間 月曜日から金曜日、10時から15時まで
(実習・行事・関係企業からの依頼等により上記以外の曜日・時間帯もあり得る。)

7 支援内容

- (1) 利用者個々の自己到達目標に向けての支援
 - ア 個別支援計画で聞き取った目標・課題を6か月ごとに振り返り、評価しステップアップを図る。
- (2) 工賃につながる作業量の確保
 - ア 年間を通して安定した収入が得られるような作業の確保
 - イ 地域との連携を図り、近隣公民館等の草刈り作業の委託を受ける。
 - ウ 特性に合わせた作業訓練を行い、体力と自信につなげる。
 - エ 利用者が意欲的に作業を行えるよう働きかけをしていく。
 - オ カフェコーナーの運営で、安定収入を図る。
- (3) 安定利用に向けての支援
 - ア 利用時間は個々の利用形態で柔軟に対応していく。
 - イ 希望者には、送迎を行う。
- (4) 高齢の利用者の今後に向けての支援
 - ア 加齢による体力等の低下がみられたときは、意向を聴きながら関係機関と連携し今後につなげていく。
- (5) その他
 - 各種行事の実施
 - 地域の行事等へ積極的に参加していく。

8 職員体制

管理者、サービス管理責任者、職業指導員、生活支援員、調理員

9 運営資金

- (1) 法定給付費
- (2) 利用者負担金
 - ア 利用料
 - イ その他
 - (ア) 昼食代
 - (イ) 行事等参加費

I 指定就労定着支援事業

- 1 事業所名 ライフサポートりんどう 就労定着支援室
- 2 事業所所在地 長野市上駒沢429-1
- 3 事業目的
 通常の事業所に新たに雇用された障がい者に対し、一定期間にわたり、就労の継続を図るために企業・関係機関と協力して支援を行い、利用者の就労の継続と自立した生活の安定に繋げる。
- 4 利用対象者
 就労継続支援B型事業所等の利用を経て通常の事業所へ雇用された障がい者であって、就労継続の期間が6ヶ月経過した障がい者
- 5 定員
 定めなし
- 6 利用期間
 市町村が定めた利用開始日から3年間
- 7 支援内容
 就労先で働き続けるためサービスを提供する。
 (1) 就労定着支援計画に基づいてサービスを提供する。
 (2) 対面による相談を月1回以上実施する。
 (3) 月1回以上企業への訪問で、抱えている課題や配慮すべきことの助言を行う。
 (4) 企業・関係機関との連絡調整を行う。
- 8 職員体制
 管理者、サービス管理責任者、就労定着支援員、ジョブコーチ
- 9 運営資金
 法定給付費

J-1 指定一般相談支援事業

- 1 事業所名 ライフサポートりんどう相談室
- 2 事業所所在地 長野市上駒沢 429-1
- 3 事業目的
 - (1) 障害者支援施設等に入所している障害者又は精神科病院に入院している障がい者が地域での生活に移行するため、住居の確保等必要な支援を行う。
 - (2) 居宅において単身等で生活する障がい者等に対し、常時の連絡体制の確保、緊急の事態等に相談その他の必要な支援を行う。
- 4 利用対象者
 - (1) 地域移行支援

次のうち、地域生活への移行の為に支援が必要と認められる者

 - ・ 障害者支援施設、のぞみ園、児童福祉施設又は療養介護を行う病院に入所している者
 - ア 精神科病院に入院している障がいのある者
 - イ 救護施設又は厚生施設に入所している障がいのある者
 - ウ 刑事施設、少年院に収容されている障がいのある者
 - エ 厚生保護施設に入所している障がいのある者又は自立更生促進センター、就業支援センターもしくは自立準備ホームに宿泊している障がいのある者
 - (2) 地域定着支援

次のうち、地域生活を継続していくために緊急時等の支援が必要と認められる者

 - ア 居宅において単身である為緊急時に支援が見込めない状況にある者
 - イ 居宅に置いて家族と同居している障がいのある者であっても、その家族が障がい、疾病の等の為、緊急時の支援が見込まない状態にある者

・ 精神障害者支援施設等や精神科病院から退所・退院した者のほか、家族との同居から一人暮らしに移行した方や地域生活が不安定な者 等
- 5 定員
定めなし
- 6 開設日等
 - (1) 開設日 月曜日から金曜日（祝祭日、年末年始、夏季休業日を除く）
 - (2) 開設時間 月曜日から金曜日 8時30分から17時15分まで
(地域定着支援事業は常時の連絡体制をとる)
- 7 支援内容

- (1) 利用者の意向、特性、その他の事情を踏まえた地域移行支援計画の作成
- (2) 行政、医療、福祉サービス事業所等関係機関との連携
- (3) 地域移行支援
 - ア 住居の確保、その他の地域生活に移行するための活動に関する相談
 - イ 地域生活への移行のための外出同行
 - ウ 障害福祉サービスの体験利用
 - エ 体験宿泊
- (4) 地域定着
 - ア 常時の連絡体制の確保（携帯電話による利用者との連絡体制の確保）
 - イ 緊急時の対応（電話等による状況把握、関係機関等への連絡調整）

8 職員体制

相談支援専門員、地域移行支援員

9 運営資金

法定給付費

J-2 指定特定相談支援事業

1 事業所名 ライフサポートりんどう相談室

2 事業所所在地 長野市上駒沢 429-1

3 事業目的

- (1) 利用者等からの日常生活及び社会生活上の一般的な相談に応じ、利用者等の意向に基づき、適切な相談支援の利用及び福祉サービスの利用に関わる援助を行うことで、利用者等の地域生活支援を行う。
- (2) 利用者等の心身の状況・置かれている環境から課題を整理し、福祉サービス等の情報を提供するなどして利用者等の意思決定の支援に配慮し、福祉サービス等が適切かつ円滑に提供されるよう利用者との協働し、利用者等が安心して地域生活を送ることができるよう相談支援を行う。

4 利用対象者

- (1) 障害福祉サービスを申請した障害者であって、市町村がサービス等利用計画案の提出をも求めた者
- (2) 地域相談支援を申請した障害者であって市町村がサービス等利用計画案の提出を求

めた者

- (1) 開設日 月曜日から金曜日（祝祭日、年末年始、夏季休業日を除く）
- (2) 開設時間 月曜日から金曜日 8時30分から17時15分まで

7 支援内容

(1) サービス利用支援

- ア 障がいのある方の心身の状況、置かれている環境、障害福祉サービスの利用の利用に関する意向、その他の事情を勘案し、利用するサービスの種類や内容を記載した「サービス等利用計」の作成。
- イ 支給決定後の福祉サービス事業者等との連絡調整。
- ウ 支給決定されたサービスの種類や内容、担当者等を記載した「サービス等利用計画」の作成。

(2) 継続サービス利用支援

- ア 「サービス等利用計画」の利用状況の検証（モニタリング）
- イ 「サービス等利用計画」の変更及び関係者との連絡調整。
- ウ 新たな支給決定が必要な場合の申請等

8 職員体制

相談支援専門員

9 運営資金

法定給付費

K 指定居宅介護事業

1 事業所名 ライフサポートりんどう ヘルパーステーションてくてく

2 事業所所在地 長野市上駒沢429-1

3 事業目的

利用者が居宅において自立した日常生活又は社会生活を継続できるよう、利用者の身体その他の状況及び置かれている環境に応じ、共に行う自立支援、調理、洗濯及び掃除等の家事援助、並びに生活等に関する相談及び助言その他の生活全般にわたる支援を適切かつ効果的に行う。

また、利用者の外出時における移動中の支援その他必要な援助を行う。

4 利用対象者

障害支援区分が区分1以上である者

5 定員

定めなし

6 利用期間

市町村が定めた期間

7 支援内容

ア 身体介護・家事援助

調理、洗濯、掃除、買い物、通院介助、その他必要な援助

イ その他、必要に応じて健康や日常生活上の相談や助言

8 職員体制

管理者、サービス提供責任者、支援員

9 運営資金

法定給付費